

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/30

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.99	0.06
JPY/THB	0.2336	-0.0001
USD/JPY	154.02	0.26
EUR/THB	38.93	-0.08
EUR/USD	1.0821	-0.0035
USD/CNH	7.272	0.008
SGD/THB	26.77	0.01
AUD/THB	23.58	0.05
USD/INR	83.74	0.01
USD Index	104.56	0.25

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.368	0.000
10Y (THB)	2.614	0.000
5Y (USD)	4.075	0.000
10Y (USD)	4.174	-0.019

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,377.8	-3.2
WTI (Oil)	75.81	-1.35
Copper	9,026.0	-85.0

Stock

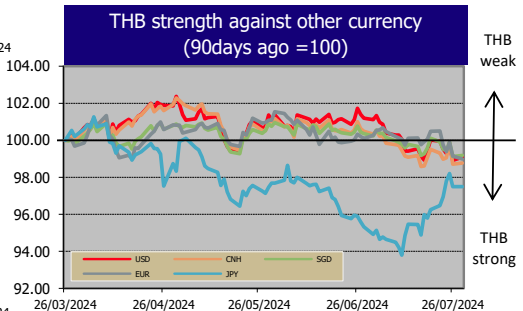
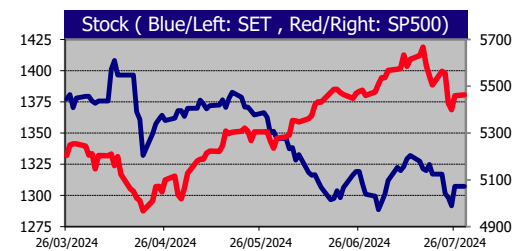
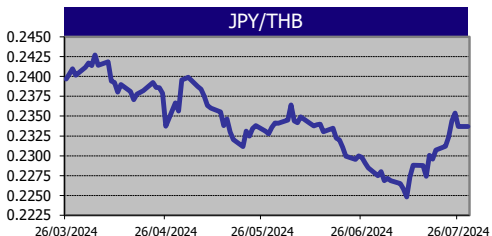
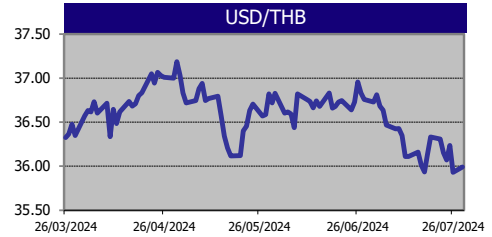
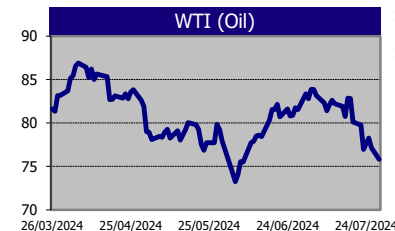
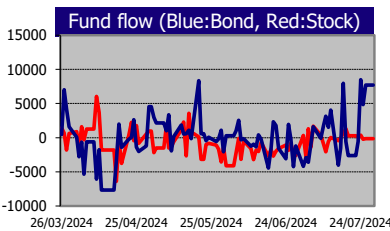
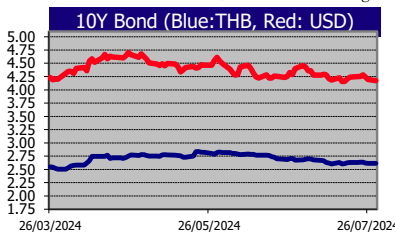
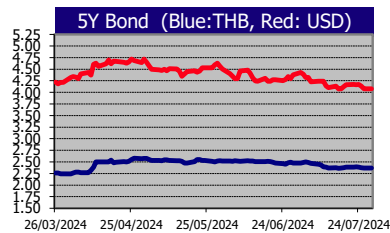
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,307.21	0.00
NIKKEI (JP)	38,468.63	801.22
DOW (US)	40,539.93	-49.41
S&P500 (US)	5,463.54	4.44
SHCOMP (CN)	2,891.85	0.95
DAX(GER)	18,320.67	-96.88

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(148)	0.0
Bond net flow	7,697	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバーツ

26日のドルバーツは下落。36バーツ台前半で取引を開始すると、朝方からじりじりと下落。タイ財務省が2024年GDP予想を2.4%から2.7%に上方修正したことや、観光客数の増加予測が報道されると、バンコク時間終盤にかけても続落した。海外時間では米6月PCE価格指数が予想通りの結果となり、9月利下げの観測が維持されたことから、ドルバーツが小幅に反発する場面があったものの、ドル安バーツ高基調は変わらず、終盤にかけて35バーツ台後半まで下落し、同水準で越えた。29日はタイ休日の中でドルバーツは小動きとなった。朝方は実需のドル売りの動きが入り、ドルバーツは下落したが、重要イベントを控え、終盤にかけて36バーツちょうど付近まで戻し、そのまま35.99レベルでクローズ。

●ドル円その他

26日のドル円は行って来い。153円台後半でオープンした後、東京仲値にかけて154円台に突入したが、午後は値を戻す展開となった。欧州時間では再び高値を試す場面あったものの、米国時間に入ると米経済指標発表の結果を受けて米金利の動きに追随し、上下する展開となり、結局オープンのレベルに戻してクローズ。29日のドル円は売り買い交錯する展開。東京仲値にかけて実需のドル売りが先行し、一時153円ちょうど付近まで下落したが、その後反発。海外時間では重要イベントを控え、材料難の中で反発した場面あったものの、終盤にかけて米金利の低下が上値を抑え、154.02レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

7月月間を通じて見ると、ドル円は今月3日の162円ちょうど付近から25日の151円台後半まで下がり、ほぼ10円のドル安円高が進んだが、円高トレンドに転じたとみるのは時期尚早だと考える。仮に今月末の日銀金融政策決定会合で日銀が利上げに踏み切れば、サプライズもあって再び円高を試す局面はありそうだが、逆に利上げが見送られ、今後の利上げについてもヒントがなかった場合、いったん円安の反応が見込まれる。足元ひとまず円安が一服したため、日銀は9月頃までに実質賃金がプラスに転じるかを確認してから判断を行う可能性が高い。また、展望レポートで「当面、緩やかな金融環境が継続すると考えている」との文言の修正有無に注目したい。削除、もしくは今回追加利上げの道筋が明確に示された場合、長期金利の上昇と円安抑制につながるため、トレンドの転換が加速すると考える。(Li)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.